

試 験 地	受 検 種 別	受 験 番 号						氏 名

**2 建実**

（ 受験地変更者は上欄のほか、本日の受験地と仮受験番号を記入してください。）  
 本日の受験地 \_\_\_\_\_ 仮受験番号 仮一 \_\_\_\_\_

平成 18 年度

## 2 級建築施工管理技術検定試験

### 実地試験問題

次の注意事項をよく読んでから始めてください。

〔注 意 事 項〕

1. ページ数は表紙を入れて 6 ページです。
2. 試験時間は、14 時から 16 時です。
3. 試験問題は 5 問題です。全問解答してください。
4. 解答は、別の解答用紙の定められた範囲内に、黒鉛筆か黒シャープペンシルで記入してください。
5. この試験問題用紙は、実地試験の試験終了時刻まで在席した方のうち、希望者は持ち帰ることができます。  
 途中退席者や希望しない方の試験問題用紙は、回収します。

**問題 1**

あなたが経験した**建築工事**（土木工事，設備工事等を除く）のうち，あなたの受検種別にかかる工事を1つ選び，下記に示す工事概要を記入した上で，次の問いに答えなさい。

〔工事概要〕

イ．工 事 名

ロ．工 事 場 所

ハ．工事の内容

(	新築等の場合：建物用途，構造，階数，延べ面積又は施工数量，
	主な外部仕上げ，主要室の内部仕上げ
	改修等の場合：建物用途，主な改修内容，施工数量又は建物規模

ニ．工 期 （年号又は西暦で年月まで記入）

ホ．あなたの立場

ヘ．あなたの具体的な業務内容

1. 上記の工事概要であげた工事において，あなたが実際にかかわった工種名（コンクリート工事，内装工事など）をあげ，その工種において工程・工期を**遅延させる要因とその理由**，及び遅延させないために**実際に行った対策**をそれぞれ**3つ**，具体的に記述しなさい。

なお，工種名については同一工種名でなくてもよい。

ただし，安全やコストのみの記述及び実際に行った対策の内容が同一の記述は不可とする。

2. 上記の工事にかかわらず，あなたの今日までの工事経験を踏まえて，建築工事における工程・工期を**短縮するための方法及びその派生する効果又は問題点**を工種名とともに**2つ**，具体的に記述しなさい。

なお，派生する効果又は問題点については，品質面，安全面，コスト面，環境面などの観点からの記述とする。

ただし，工程・工期を短縮するための方法については，上記1.の実際に行った対策と同一の記述は不可とする。

**問題 2** 下記の建築工事に関する用語のうちから 5 つを選び、その**用語の説明**と**施工上の留意すべき内容**を具体的に記述しなさい。

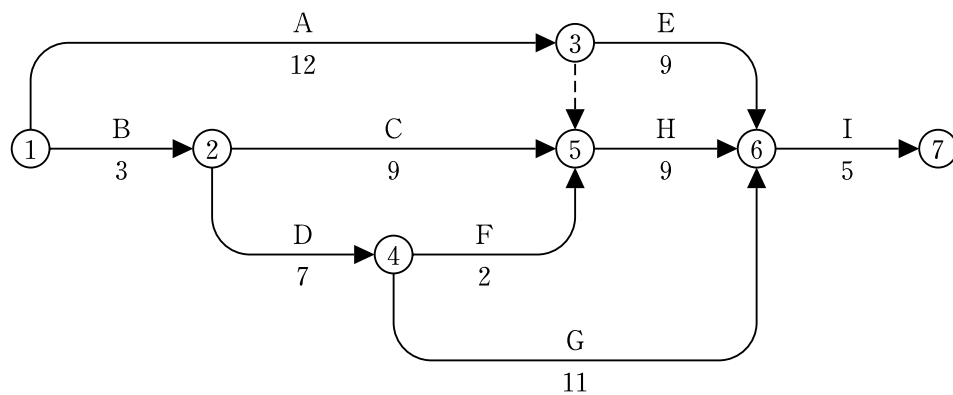
ただし、仮設に関する用語以外の用語については、作業上の安全に関する記述は除くものとする。  
また、材料に不良品はないものとする。

帯筋	気密シート	軽量鉄骨天井下地のクリップ
研磨紙ずり	樹脂混入モルタル	タンピング
床付け	トップライト	ブローホール
フォームタイ	歩道切下げ	ボンドブレーカー
木構造の土台	養生朝顔	

**問題 3**

下記に示すネットワーク工程表について、次の問いに答えなさい。

なお、作業を表す矢印の上段は作業名、下段は所要日数を示す。



1. 上記の工程表において、作業 I のフリーフロートは何日間であるか、日数で答えなさい。
2. 上記の工程表において、作業 A を 1 日間、作業 H を 2 日間、作業 G を 3 日間短縮したときのクリティカルパスを、作業名で工程順に並べて答えなさい。
3. 上記の工程表において、作業 D が 2 日延びたときの①から⑦までの総所要日数を求めなさい。

**問題 4**

次の文章中、下線部の語句が適当なものは○印、不適当なものは適当な語句を解答欄に記入しなさい。

1. 鉄筋の組立てにおいて、鉄筋交差部の結束に用いる結束線は、通常太さ 0.8 ～ 0.85 mm 程度の銅線を使用するが、太径鉄筋に対してはこれを 2 ～ 3 本束ねて用いる。
2. 型枠工事において、木製のせき板は、コンクリート内部の硬化不良などを防止するため、できるだけ直射日光にさらされないように注意する。
3. 鉄筋コンクリート梁に、コンクリートの鉛直打継ぎ部を設ける場合、打継ぎ面はコンクリート打込み前の打継ぎ部の処理が円滑に行え、かつ新たに打ち込むコンクリートの締固めが容易に行えるものとし、打継ぎ面は主筋と直角となるようにする。
4. 鉄骨工事において、柱の建入れ検査は、柱に取り付けられた下げ振りのピアノ線又はトランシット視準点の位置を、柱の上部のみについて柱のフランジ又はウェブからの寸法で測定して倒れをみる。
5. 建物内部の木工事において、ボードや合板類などの壁の仕上げ面に取り付ける出入り口の枠、サッシの額縁などには、ボードや合板類が乾燥収縮によって、枠、額縁とのすき間などが生じないように小穴じゃくりや壁じゃくりなどのほぞをつける。
6. 鋼製壁下地において、スタッドの種類として65形、90形、100形などがあるが、一般に、これらはスタッドを取り付ける壁下地の高さによって使い分ける。
7. 塗装作業中における塗膜の欠陥であるしわは、下塗りの乾燥が不十分のまま上塗りを行ったり、油性塗料を薄塗りした場合に生じやすい。
8. 壁紙張りにおいて、表面についた接着剤や手あかなどを放置しておくとはがれの原因になるので、張り終わった部分ごとに直ちにふき取る。

**問題 5**

「建設業法」，「建築基準法」及び「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」に定める下記の各法文において，それぞれ誤っている語句の番号を1つあげ，それに対する正しい語句を解答欄に記入しなさい。

1. 建設業法（法第24条の2）

「元請負人は，その請け負った建設工事を施工するために必要な工程の細目，作業方法その他元請負人において定めるべき事項を定めようとするときは，あらかじめ，注文者の意見をきかなければならない。」

2. 建築基準法（法第89条 第1項）

「第6条第1項の建築，大規模の修繕又は大規模の模様替の工事の発注者は，当該工事現場の見やすい場所に，国土交通省令で定める様式によって，建築主，設計者，工事施工者及び工事の現場管理者の氏名又は名称並びに当該工事に係る同項の確認があった旨の表示をしなければならない。」

3. 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）（法第5条 第1項）

「建設業を営む者は，建築物等の設計及びこれに用いる建設資材の選択，建設工事の施工方法等を工夫することにより，建設資材廃棄物の処分を抑制するとともに，分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用を低減するよう努めなければならない。」